

(2)試験証明書「TB-22-007553-2」 22'1215

(2-1)品名：ポリウレア用不燃剤を塗布した木質系ボード

(2-2)試験項目：燃焼性

(2-3)試験方法：JIS L1091A-2 法(45°メッセルバーナー法)準用

- ・評価基準（以下の基準を満たせば不燃性があるとの評価）
- ・残炎時間:10 秒以下
⇒着炎してもバーナーを外して 10 秒以内に消炎すれば問題無しと言う評価
- ・残じん時間:30 秒以下
⇒くすぶりが生じても 30 秒以下であれば問題無しと言う評価
- ・炭化面積:70cm² 以下
- ・加熱終了より 15 分後に発炎及びくすぶりが認められないこと。

(2-4)試験項目

(2-5)試験結果

- ・燃焼性（2 分加熱：残炎時間[秒]）-----0 秒
⇒燃焼はしなかった。
- ・燃焼性（2 分加熱：残炎時間＋残じん時間）-----0 秒
⇒燃焼はしなかった。
- ・燃焼性（2 分加熱：燃焼面積[cm²]）-----41cm²
⇒炭化面積が 70cm² 以下と言う基準は満たしている。
- ・燃焼性（着炎後 6 秒加熱：残炎時間[秒]）-----着炎せず
⇒ほぼ不燃であったと言う評価
- ・燃焼性（着炎後 6 秒加熱：残炎時間＋残じん時間）-----着炎せず
⇒ほぼ不燃であったと言う評価
- ・燃焼性（着炎後 6 秒加熱：燃焼面積[cm²]）-----着炎せず
⇒ほぼ不燃であったと言う評価
- ・燃焼性（加熱終了後のくすぶり(分)） -----5 分
⇒加熱終了より 15 分後に発炎及びくすぶらない、と言う基準は満たしている。

※総合評価

上記評価基準を全て満たしているので、上記材料は不燃材料であると判断される。

今回の 3 点の試験体の中では最も不燃性が高いと判断される。

(3)試験証明書「TB-22-007553-3」 22'1215

(3-1)品名：発泡スチロール用不燃剤を塗布した木質系ボード

(3-2)試験項目：燃焼性

(3-3)試験方法：JIS L1091A-2 法(45°メッセルバーナー法)準用

- ・評価基準（以下の基準を満たせば不燃性があるとの評価）
- ・残炎時間:10 秒以下
⇒着炎してもバーナーを外して 10 秒以内に消炎すれば問題無しと言う評価
- ・残じん時間:30 秒以下
⇒くすぶりが生じても 30 秒以下であれば問題無しと言う評価
- ・炭化面積:70cm² 以下
- ・加熱終了より 15 分後に発炎及びくすぶりが認められないこと。

(3-4)試験項目

(3-5)試験結果

- ・燃焼性（2 分加熱：残炎時間[秒]）-----0 秒
⇒燃焼はしなかった。
- ・燃焼性（2 分加熱：残炎時間＋残じん時間）-----0 秒
⇒燃焼はしなかった。
- ・燃焼性（2 分加熱：燃焼面積[cm²]）-----58cm²
⇒炭化面積が 70cm² 以下と言う基準は満たしている。
- ・燃焼性（着炎後 6 秒加熱：残炎時間[秒]）-----0 秒
⇒若干着炎はしたが燃焼はしなかった。
- ・燃焼性（着炎後 6 秒加熱：残炎時間＋残じん時間）-----0 秒
⇒若干着炎はしたが燃焼はしなかった。
- ・燃焼性（着炎後 6 秒加熱：燃焼面積[cm²]）-----21cm²
⇒炭化面積が 70cm² 以下と言う基準は満たしている。
- ・燃焼性（加熱終了後のくすぶり(分)） -----4 分
⇒加熱終了より 15 分後に発炎及びくすぶらない、と言う基準は満たしている。

※総合評価

上記評価基準を全て満たしているので上記材料は不燃材料であると判断される。